

事業所名

通所支援事業所 山の家（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

24日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権を守り、人格を尊重し、差別のない平等な保育をします。 ・保護者が喜びをもって子どもを育てる支援をします。 ・人の繋がりを大切に、地域に根ざした子育てセンターとしての役割を果たします。 ・職員の健康と生活を守り、専門性を高めます。 ・職員・保護者・地域とともに民主的な運営を目指します。 ・社会福祉法人としての役割を果たし、公的保育を守ります。 ・常に社会に目を向け、子どもの命と生活を脅かす、一切の戦争政策を許さず、平和と環境を守ります。 		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・集団療育では、集団の関わりの中で子どもの発達の特長や姿に合わせた活動内容を考え、大人との関係を築きながら、ともだちと一緒に活動する楽しさを味わい、自信と意欲を育てます。 ・個別療育では、主に大人との関わりの中で子どもの発達の特長や姿に合わせた活動内容を考え、その子のためだけの療育を行います。 ・療育の実施にあたっては、それぞれの特性、発達の状況、保護者の思いを含めて個別支援計画を作成し、文書で確認します。 ・保護者の方には子育てに関する悩みを伺ったり、子どもの成長を振り返る機会をもちます。 ・必要に応じて、学校・発達相談所との連携を図ります。 		
営業時間		平日 9時30分から 18時30分まで	送迎実施の有無	あり
		学校休業日 8時30分から 18時30分まで		
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	子どもの姿や興味に合わせて色々な遊びや活動を考え、用意し、「やってみようかな」という意欲を引き出す。子どもがやってみたくと思った活動と一緒に取り組み、好きなこと、得意なことを見つけて、自分を知ることや、自分で生活する力の土台を育む。		
	運動・感覚	子どもの姿、趣味、好みに合わせて、やってみたくするような活動を用意する。興味を深めて、楽しく取り組めるよう、色々な材料、道具を用意し、心を解放させ、体を使って遊びこむという経験を積み重ねる。		
	認知・行動	本人の好きな活動を中心に取り組みながら、興味や活動の幅、行動範囲を広げる。また、人と関わる機会や経験を増やしていく。日々の遊びの中で、本人がめざせる具体的な目標を立て、日常の中で達成感を積み重ねていけるようにする。		
	言語コミュニケーション	安心して自分の気持ちを表現できるように、信頼関係を築くことを大切にする。「やってみたくこと」について、一緒に考え、実施する。また、一緒に考えたり調べたり、話しをする時間を大切に、自分の考えや気持ちを言葉で伝える力に繋げる。		
	人間関係社会性	好きな活動に、趣味好みの合う子どもと一緒に取り組み、人と一緒に活動することの楽しさや喜びを味わう。自分の好きな活動に関するイベントや、披露する機会を大人と一緒に考えたり、計画し、ともだちと一緒に実施する。		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿や成長を伝え合いながら過ごしていくことを大切にする。 ・定期的な面談だけでなく、保護者や子どもの様子に合わせて、適宜、懇談を行う。 ・保護者同士が集まれる機会を作る。悩み等を相談できる場所や、人との繋がりを作る。 		
移行支援 地域支援・地域連携		学校や関係機関で開催される会議に参加し、子どもの姿を共有する。子どもの思いを大切にして、方向性を一致して関わり、それぞれの役割を確認し合いながら過ごしていく。併設している学童保育所との連携を図り、地域の子ども達と関わる機会を作る。		
職員の質の向上		事業所内での研修の実施、また外部の研修を受講する機会を設け、専門知識や理解を深める。子どもの姿や活動内容について、検討したり話し合う時間を日常的に設ける。		
主な行事等		日常の遊びの中で、子ども達と一緒に、展示会や遊びの会などを企画して行う。季節に合わせた活動に取り組む。（クッキング、散策活動など）		